

東久留米のいきもの12月に観察した野鳥(主に水辺)No.1



カルガモ



ヒドリガモ



ヒドリガモ(交雑種)



コガモ



マガモ



ハクセキレイ



キセキレイ



セグロセキレイ

〔特記〕ヒドリガモ: 近年11月頃から市内で観察できる渡り鳥の仲間です。オスは頭部が茶色で体は灰色です。良く観察すると目の周辺部から耳羽が緑色の個体を見ることがあります。アメリカヒドリとの交雑種との事です。コガモに似た感じがします。
コガモ・マガモ: 飛来数は少ないが毎年観察できる野鳥です。

東久留米のいきもの12月に観察した野鳥(主に水辺)No.2



カワウ(繁殖羽)



タシギ



カワセミ



コサギ



ダイサギ



アオサギ

〔特記〕カワウ:通常は全身がほぼ黒色ですが、写真のカワウは首回りが白い個体です。調べたところ「繁殖羽(婚姻色)」と言われるものでした。
タシギ:羽根色が枯れ草などとほとんど変わらず見つけることが難しい。
市内での観察は稀で、毎年1回程度観察できればラッキーです。
カワセミ・コサギ・ダイサギ・アオサギ:カワセミは年中観察できますがサギ類は夏場など観察できない時季があります。

東久留米のいきもの12月に観察した野鳥No.3



スズメ



シジュウカラ



メジロ



エナガ



ヤマガラ



ヒヨドリ



ムクドリ



キジバト

〔特記〕スズメ:減少傾向にある野鳥です。たまに20羽ほどが群れている現場を見かけますが少なくなったことは間違いありません。

メジロ:写真を写すとカメラ越しに色々な表情をします。好きな鳥の種類ですが彼らにとって迷惑なようです。

エナガ・ヤマガラ:スズメと同様に少なくなっているようです。特に、ヤマガラは殆ど観察できなくなりました。

ヒヨドリ・ムクドリ・キジバト:一年中観察できる留鳥です。ヒヨドリ以外はスズメ同様に減少傾向です。

東久留米のいきもの12月に観察した野鳥No.4



カワラバト



ハシブトガラス



ハシボソガラス



オナガ



コゲラ



アオゲラ



ジョウビタキ(雄)



ジョウビタキ(雌)

〔特記〕カワラバト・ハシブトガラス・ハシボソガラス・オナガ・コゲラ・アオゲラ:これら6種の野鳥は、留鳥でほぼ一年中観察できます。
ジョウビタキ:市内では、11月頃から翌年3月頃まで観察できる渡り鳥です。

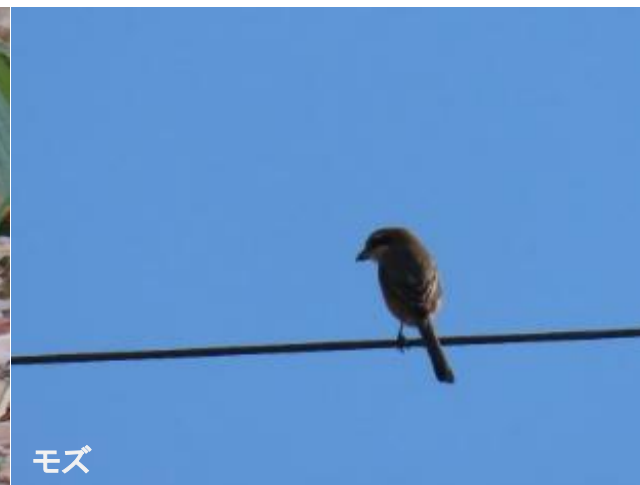
東久留米のいきもの12月に観察した野鳥No.5



アオジ



ガビチョウ



モズ



カワラヒワ



ツミ

〔特記〕アオジ：緑地などで地鳴きしているのを聞きますが年に1回程度観察できるか否かの野鳥です。

ガビチョウ：外来生物法で特定外来生物に指定されており、日本の侵略的外来種ワースト100定種にもなっています。

モズ・カワラヒワ：留鳥か否かは分かりませんが、一時的に観察できない時季もあります。

ツミ：個体数が多くなったのか都市化しているのか、ほぼ年間を通して観察できます。